

| 科目名  |  | 建築史  |         |      |      |
|--|--|--|---------|------|------|
| 担当教員   | 熊谷 貴子  |  | 実務授業の有無 | ○    |      |
| 対象学科   | インテリアデザイン科   | 対象学年   | 1       | 開講時期 | 前期   |
| 必修・選択  | 必修   | 単位数  |         | 時間数  | 16時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方   | 西洋建築の様式変遷と特徴、建築物、建築家を座学と小テスト等で知識を習得する。<br>1. 西洋建築の特徴、条件に合わせた設置計画などの重要性を学ぶ。<br>2. 講義だけでなく、DVDや写真なども取り入れ、視覚的にも理解を深める。<br>3. 講義→小テスト→解答解説→習得を繰り返すことで、知識を習得する。 |  |         |      |      |
| 学習目標 (到達目標)  | 西洋の建築物の様式変遷と、その特徴・代表的な建築物・建築家を学び、習得する。建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。  |  |         |      |      |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料   | ①図説 建築の歴史 (学芸出版社)<br>②ipadでの補足資料・映像資料  |  |         |      |      |
| NO.  | 授業項目、内容  | 学習方法・準備学習・備考   |         |      |      |
| 1  | 西洋建築史/1-「建築史」を学ぶということ<br>①建築の意味<br>②西洋と日本の建築<br>③・新潟の建築  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～③を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 2  | 西洋建築史/2-オリエントの建築<br>①古代メソポタミア<br>②古代エジプトの建築物   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 3  | 西洋建築史/3-ギリシア建築<br>①ギリシア建築の特徴と構成、<br>②オーダーの種類   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 4  | 西洋建築史/4-ローマ建築<br>①古代ローマ建築の工法・技術と建築物  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 5  | 西洋建築史/5-初期キリスト教建築・ビザンツ建築<br>①キリスト教建築のはじまりと 東ローマの建築   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 6  | 西洋建築史/6-ロマネスク建築<br>①ロマネスク建築の特徴と建築物   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 7  | 西洋建築史/7-ゴシック建築<br>①ゴシック建築の特徴と建築物   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 8  | 西洋建築史/8-ルネサンス建築<br>①ルネサンス建築の時代背景と建築物   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 9  | 西洋建築史/9-バロック建築<br>①バロック建築の特徴とその時代背景、<br>②ロココを学ぶ  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 10   | 西洋建築史/10-新古典主義・歴史主義<br>①新古典主義建築の時代背景<br>②歴史主義建築  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 11   | 小テスト①  | 項目1～10から抜粋し小テストで理解度の確認。<br>解答解説を行う。  |         |      |      |
| 12   | 西洋建築史/11-産業革命と建築<br>①産業革命による技術革新と「アグランド」の運動  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 13   | 西洋建築史/12-近代造形運動<br>①アールヌーボーと各地の近代造形運動  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 14   | 西洋建築史/13-モダニズム建築と三大巨匠<br>①フランク・ロイド・ライト<br>②ミース・ファン・デル・ロエ<br>③ル・コルブジエ   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～③を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 15   | 小テスト②  | 項目1～14から抜粋し小テストで理解度の確認。<br>解答解説を行う。  |         |      |      |
| 評価方法・成績評価基準  |  | 履修上の注意   |         |      |      |
| 小テスト・映像レポート・授業態度 を総合して評価します。<br>小テスト①20%、小テスト②20%、映像レポート20% 授業態度40%<br>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |  | 建築設計に必要な知識として建築の成り立ち全般を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかり理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。 |         |      |      |
| 実務経験教員の経歴 設計業務、インテリアコーディネーターとして8年実務に携わる  |  |  |         |      |      |

| 科目名  |  | 建築史  |         |      |      |
|--|--|--|---------|------|------|
| 担当教員   | 熊谷 貴子  |  | 実務授業の有無 | ○    |      |
| 対象学科   | インテリアデザイン科   | 対象学年   | 1       | 開講時期 | 後期   |
| 必修・選択  | 必修   | 単位数  |         | 時間数  | 16時間 |
| 授業概要、目的、授業の進め方   | 日本建築の様式変遷と特徴、建築物、建築家を座学と小テスト等で知識を習得する。<br>1. 日本建築の特徴、条件に合わせた設置計画などの重要性を学ぶ。<br>2. 講義だけでなく、DVDや写真なども取り入れ、視覚的にも理解を深める。<br>3. 講義→小テスト→解答解説→習得を繰り返すことで、知識を習得する。 |  |         |      |      |
| 学習目標 (到達目標)  | 西洋の建築物の様式変遷と、その特徴・代表的な建築物・建築家を学び、習得する。建築士2級の筆記試験範囲にあたる科目のため、合格点に達する習熟度を目標とする。  |  |         |      |      |
| テキスト・教材・参考図書・その他資料   | ①図説 建築の歴史 (学芸出版社)<br>②ipadでの補足資料・映像資料  |  |         |      |      |
| NO.  | 授業項目、内容  | 学習方法・準備学習・備考   |         |      |      |
|  | <b>日本建築史</b>   |  |         |      |      |
| 1  | 縄文・弥生時代の建築<br>古代の建築と神社建築の特徴を学ぶ   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～③を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 2  | 飛鳥・奈良時代の建築<br>仏教建築の伝来とその特徴を学ぶ  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 3  | 平安時代の建築<br>平安京と寝殿造りの特徴を学ぶ  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 4  | 鎌倉時代の建築<br>仏教建築の展開とその特徴を学ぶ   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 5  | 室町時代の建築<br>書院造りのはじまりと特徴を学ぶ   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 6  | 戦国時代の建築<br>城郭建築と茶室の特徴を学ぶ   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 7  | 江戸時代の建築<br>書院造りの完成と数寄屋を学ぶ  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 8  | 小テスト①  | 項目1～7から抜粋し小テストで理解度の確認。<br>解答解説を行う。<br>準備学習：項目1～6を教科書、プリントなどで復習   |         |      |      |
| 9  | 明治時代の建築<br>西洋建築の輸入と日本人建築家を学ぶ   | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 10   | 大正時代の建築<br>震災復興とモダニズムの広がり学ぶ  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 11   | 昭和の建築<br>戦後復興と高度成長期の建築を学ぶ  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 12   | 戦後の建築とポストモダン<br>世界の建築潮流とポストモダニズムを学ぶ  | 方法：教科書、資料、DVDを使って説明解説の座学<br>達成目標：項目①～②を理解する<br>準備学習：教科書①の予習  |         |      |      |
| 13   | 小テスト②  | 項目9～13から抜粋し小テストで理解度の確認。<br>解答解説を行う。<br>準備学習：項目8～10を教科書、プリントなどで復習   |         |      |      |
| 評価方法・成績評価基準  |  | 履修上の注意   |         |      |      |
| 小テスト・映像レポート・授業態度 を総合して評価します。<br>小テスト①20%、小テスト②20%、映像レポート20% 授業態度40%<br>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 |  | 建築設計に必要な知識として建築の成り立ち全般を理解した上で、設計への見聞を広げる。また定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかり理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。 |         |      |      |
| 実務経験教員の経歴 設計業務、インテリアコーディネーターとして8年実務に携わる  |  |  |         |      |      |